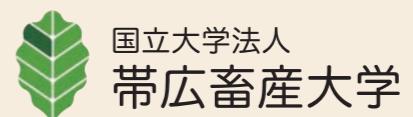


農業共生圏 高度専門家育成事業

————お問合せ————

国立大学法人帯広畜産大学
国際・地域連携課

〒080-8555 北海道帯広市稻田町西2線11番地
TEL.0155-49-5776 FAX.0155-49-5286
E-mail: wildlife@obihiro.ac.jp



野生生物と人との軋轢

狩猟者の減少・耕作地放棄・林業の衰退といった人の生活の変化や、気候変動による自然環境の変化は、野生生物の個体数増加や分布域の変化を招き、シカ等による農林業被害増加や、ヒグマ等による人身事故の原因となっています。また、他の地域から持ち込まれた外来生物は、その地域の生態系を脅かし、人やペット、家畜に感染症をもたらす危険性もあります。一方で、人が便利に暮らしていくために行われる道路開発や宅地開発等は、野生生物の生息環境や地域の生態系に大きな変化を与え、種の存続に影響を与えます。このように、人と野生生物の生活は互いに影響しあい、軋轢が生じています。



野生生物と人の共生へ向けて

野生生物と人が共存し、持続可能で多様性のある社会を実現するためには、行政職員や企業担当者、地域住民が野生生物について正しい知識を身につけ、それぞれの立場から野生生物と人との軋轢の軽減・解消に努力しなければなりません。

しかし、生息地の環境改善策や農林業被害の防除方法など保全と管理を同時に学ぶことができる場は限られています。

帯広畜産大学では、
**野生生物の保全と管理の
正しい知識を身につけた人材を
育成します。**

農業共生圏高度専門家育成事業

1 高度で実践的な専門技術を学ぶ機会の提供

野生生物保全管理講習会を開催し、課題解決に関する幅広い分野について学びの場を提供します（10月中旬～下旬開催）。

- ・野生生物の生態
- ・保全管理手法
- ・コミュニケーション技術など

対象 「野生生物」に関わる企業（コンサルティング会社、捕獲業者、機材開発業者など）、行政関係者



人の経済活動と生物多様性が両立した、農業共生圏の実現に向けて、野生生物の保全管理に関する専門的な技術と知識を持ち、立場や機関を越えて協力するコミュニケーション力を備えた人材を育成します。



最新の知見を共有するとともに、講師の経験に基づいた技術を提供します。また、グループワーキングやフィールドワークを取り入れることで実践力を高めます。

2 企業・行政との連携

保全や管理に関わる助言や技術指導、共同研究を実施しています。

- ・農畜産業への被害対策
- ・開発による影響把握
- ・開発に伴う保全対策などへの対応

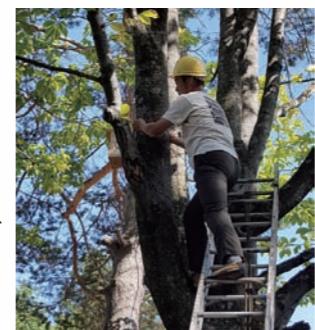
対象 「野生生物」に関わる企業（コンサルティング会社、捕獲業者、機材開発業者など）、行政関係者



現場に行き、野生生物の捕獲や保全手法のコツなどを伝えます。また、野生生物の生態を踏まえた技術や機器の開発に共同で取り組みます。



エゾリス、タンチョウ、エゾシカなど、地域で親しみ深い動物の生態を知つてもらうために制作したパンフレット。



エゾモモンガの保全に資する研究の一環として、おびひろ動物園の園内に巣箱を設置し、繁殖等に関する共同研究に取り組んでいます。



市民や子どもたち、学生等を対象として、動物園や博物館との共同による教育活動に取り組んでいます。